

石垣島で国営かんがい排水事業が本格始動！ ～石垣島全域の農業農村の活性化に向けて～

かんがい排水事業の効果

干ばつ時のさとうきびの生育状況(平成23年8月)

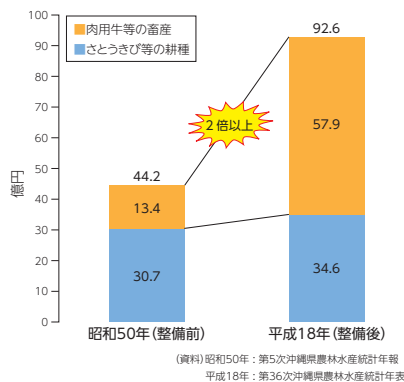


施設整備されている地域



施設整備されていない地域

石垣市の農業産出額の推移



石垣島では、さとうきび、パインアップル、水稻等の様々な作物が作られてきました。しかし、以前はダム等の施設がほとんどなく、干ばつ等の影響を受けやすい農業を余儀なくされていました。

このため、沖縄総合事務局は昭和50年から「国営かんがい排水事業」を実施し、宮良川と名蔵川の流域においてダム等の施設を整備してきました。

これにより水が安定的に供給されるようになった地域では、営農環境の改善が図られ、生産性の高い農業地帯が形成されています。

1. 石垣島の農業と「かんがい排水事業」

2. 課題と取組

しかしながら、北部や西部には水源が未整備で、未だに干ばつ等の影響を受けやすい地域がある一方で、空港等の整備により農地面積が減少している地域も存在するなど、石垣島全体の水需要に変化が生じています。

また、これまでの施設も整備から相当の年月が経ち、老朽化が問題となっています。

これらの課題に取り組むため、地元からの強い要望を受け、国営かんがい排水事業「石垣島地区」が昨年度から始動しました。当局では、本年4月に石垣島農業水利事業所を開設し、事業の推進体制を整えています。

地元の声

申請人代表 東田盛正氏
(石垣島土地改良区副理事長)
若者が農業に夢を描いていけるようになってきました。

地域の農業振興に今後ともご協力をお願いしたいです。



石垣市長 中山義隆氏
ダム間送水により、水源がなかった北部・西部地域に農業用水が安定的に供給できるようになります。この事業が、島全体の農業が発展する起爆剤になると期待しています。

〈コラム〉石垣島の農業の特徴

石垣島では、亜熱帯地域の特性を活かし、基幹作物であるさとうきびをはじめ、1年に6回収穫することができる牧草が支えるブランド牛、日本一早く収穫できる水稻等を主体とした農業が展開されています。



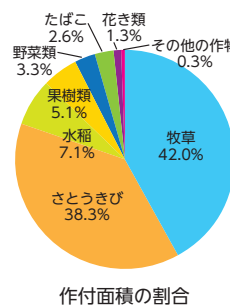
さとうきびへ散水している様子



年6回収穫可能な牧草



日本一の超早場米



作付面積の割合

(資料)2010年世界農業センサス(農林水産省)、農業関係統計(沖縄県)

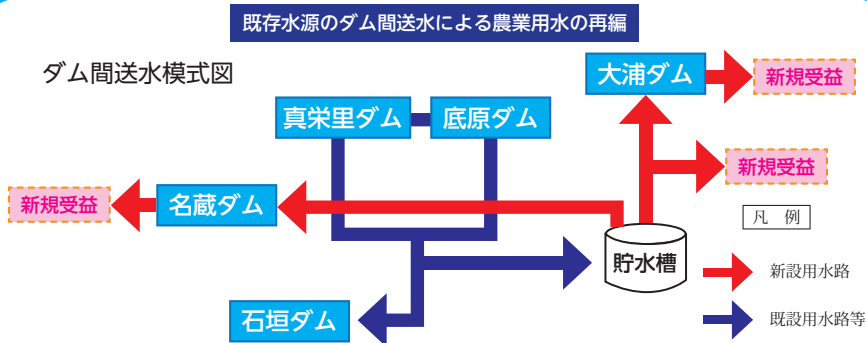
3. 「石垣島地区」の概要

この事業では、これまでに整備したダムを水路で繋ぎ、「ダム間送水」を行うことで、これまで水を供給していた地域（現況受益地区）において農地が減少したことにより発生した余水等を、新たに水を必要としている地域（新規受益地区）に供給します。また、老朽化した用水路等の施設改修もあわせて実施します。

4. 効果

農業用水を安定的に農地まで送水することにより、作物の生産量の増加や、これまでトラック等で行われていた給水作業にかかる労力の軽減、収益性の高い作物の導入等の効果が見込まれるとともに、施設の改修により、維持管理に関する負担の軽減を図っていきます。

ダム間送水模式図

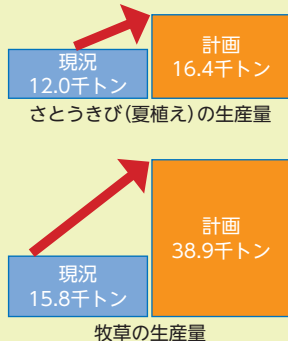


底原ダムと真栄里ダムの水を、一旦ポンプで貯水槽に送り、そこから高低差を利用して名蔵ダムと大浦ダムに送水

事業の効果

事業の実施により、以下のような効果が見込まれます。

1. 生産量の増加



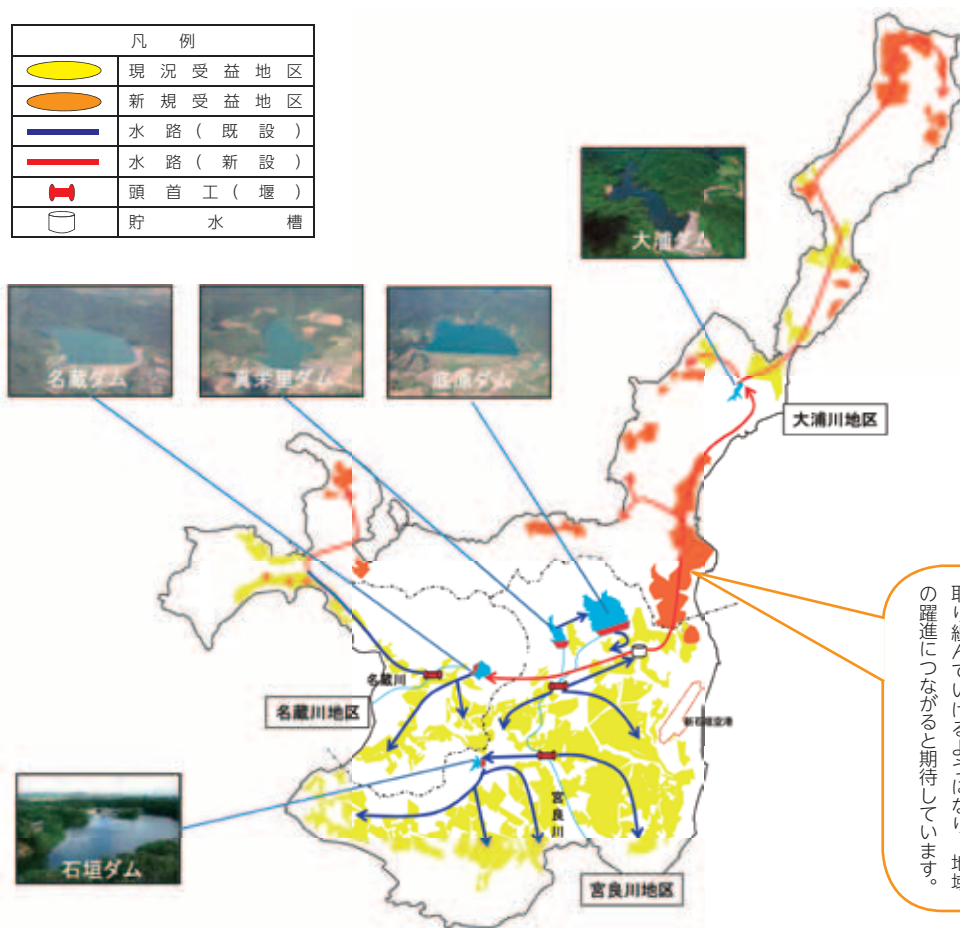
2. 労力の軽減



3. 高収益作物の導入



凡 例	
	現 況 受 益 地 区
	新 規 受 益 地 区
	水 路 (既 設)
	水 路 (新 設)
	頭 首 工 (堰)
	貯 水 槽



石垣島地区イメージキャラクター「パイリン」

地元の声



星野集落で農業を営みながら集落の活性化に取り組む砂川拓也氏

この地域は、水源がないので農業には厳しい地域です。事業が始まることで、さとうぎ以外の作物にも取り組んでいけるようになり、地域の躍進につながると期待しています。